

新入生の皆さんへ 理事長からのメッセージ

工学の学びを通じて 人間力を高めよう



理事長
大川 陽康

日本工業大学に入学された諸君、おめでとうございます。一世紀を超える歴史を有する本学園の仲間となられたことを、衷心より歓迎いたします。

本学園はものづくりからの学びを中核に据え、実践力に秀でた人材を産業界に送り出し、また優れた経営者を輩出し、近代日本の製造業、メカトロニクス、情報システムなど幅広い分野で貢献してきました。

今年入学された諸君も、ものづくりに打ち込み、第二線で活躍するエンジニアを目指していることでしょう。最先端の実験・研究および製造・開発の施設・設備とともに、ものづくりの楽しさを体験できる多様な場を整えているのが本学園です。

体験学習と理論学習とを交互に行い、双方の

よき融合を図ることが私たちの教育の柱としてあります。それは手と目、そして機械の回転音やオイルが焼ける匂いなど感覚を研ぎ澄ます学びです。知覚・感性を認識する右脳と論理的な思考を認識する左脳とを交互に鍛えるプロセスということもできるでしょう。

今日、情報過多の時代といわれ、インターネットをはじめとする溢れる情報による弊害が指摘されています。自らの実感を見失わないことが工学の学習においてのみならず、生きる力をつける上でも大切なのではないのでしょうか。

「知識・情報」を分母に、「手中にあるもの」を分子に置き、そこから得られる値が「幸福」であると説明するプータンの方がいます。国民総幸福量の提唱で知られるプータンならではの指摘です。「知識・情報」ばかりが肥大化すると「手中にあるもの」が相対的に小さくなり、幸福感も小さくなるとの趣旨です。「手中にあるもの」とは、自ら実感でき、制御可能な範囲のことと解釈できます。また「幸福」とは、人のためになる技術と読み替えることも可能かもしれません。

さて、新たな環境で新たな学びをスタートす

るにあたって、頭の片隅に置いておいていただきたいことがあります。それは、あえて苦手なこと、全く興味のないこと、かつてまるで縁のなかったことを体験してみるということです。それをすることで様々な発見があることは間違いないでしょう。初めてのことに素直に反応できることを発見するかもしれませんし、食わず嫌いだっただけは、やっぱり好きになれなかったというのも一つの貴重な発見です。

私が申し上げたいのは、自分の可能性を自分で閉ざしてはあまりにもったいないということです。大学とは探究心を養う場であり、社会に出た際にも、自分の目が向くことだけしていればよいという職場は存在しませんから、自分の引き出しを増やしておくことに越したことはありません。

また、今日の技術者に欠かせないのが時代の動きを見つめ、人間への観察眼を養うことです。技術とは技術のみで成り立つものではなく、社会、人の生活と結びついているものです。工学の学びを通じて人間力を高めていただきたいと思います。ご健闘を祈念いたします。

本年度、日本工業大学専門職大学院(MOT)に学ばれた皆さん、この1年間を我々とともに充実した学びの日々としていきましょう。さて、日本の産業界には震災、円高、アジア勢の攻勢、欧州経済の危機など、これでもかこれでもかと難題が押し寄せてきています。中堅・中小企業が自社技術の価値を高め、この困難な時代に新たな活路を見出していくために、必要となる技術のマネジメント力、企業経営力を強化すべく、1年間多方面から、そして密度濃く学び合っていくのが本学MOTです。

本学の学風は実践と理論のリンケージにあります。

今期も様々な分野での経験豊かな皆さんが揃いました。理論の学びが皆さんご自身の実践と結びつき、血肉化されていくことではないでしょうか。大いに楽しみとするところではあります。

これまであまり接する機会を持たなかった分野の知見にふれること。それは、新たな知識を得ることの価値もさることながら、自身の未開拓分野の情報へのアクセス力を養うという大きな意味を持ちます。

また、自らの技術、知見、ビジネスのスタイルを、異なる視点、パートナー側からの目で見つめ直し、再定義する良き機会ともいえま

を招いて講演会、シンポジウム、公開講座などを行っています。そこで紹介されるのは、必ずしも成功事例ばかりではなく、経営の失敗と再建への道程という苦闘を語っていただいたことでもあります。教科書に書かれた一般論にとどまらない経営者の生きざまを聞き取る中から、ご自身の事業に役立てていただければ幸いです。

こうした場で事業の実践者同士として交流を深めていただくこともMOTとして欠かせない役割です。

事業活動において不測の事態が大変起こり易い時代であり、そうした際に想定外と言って済ませられない中堅・中小企業のみならず、こそ、生き延びる力を強くしていただきたいと思います。

を招いて講演会、シンポジウム、公開講座などを行っています。そこで紹介されるのは、必ずしも成功事例ばかりではなく、経営の失敗と再建への道程という苦闘を語っていただいたことでもあります。教科書に書かれた一般論にとどまらない経営者の生きざまを聞き取る中から、ご自身の事業に役立てていただければ幸いです。

こうした場で事業の実践者同士として交流を深めていただくこともMOTとして欠かせない役割です。

事業活動において不測の事態が大変起こり易い時代であり、そうした際に想定外と言って済ませられない中堅・中小企業のみならず、こそ、生き延びる力を強くしていただきたいと思います。

新入生の皆さんへ 学長からのメッセージ

知と技 人としての力を鍛えよう



学長
波多野 純

入学おめでとう。ともに工学を学ぶ仲間として、教職員・在学生すべてが、皆さんを心から歓迎します。

皆さんがこれから学ぶ教育プログラムには、学園105年、大学45年の歴史が込められています。多くの先輩とともに、私たちが協力して築きあげてきたものです。

入学者には、普通高校出身者もいれば、工業

つのは、全国でも本学だけです。自慢したいと思っています。

さらに詳しく説明します。例えば「融合科目」。数学・物理・英語は、工学を学ぶための基礎科目です。その修得が不十分であれば、専門分野を学ぶのに支障が出ます。初年次教育の充実が叫ばれ、全国の大学で課題として採り上げられています。しかし、そのほとんどは、高校の復習です。本学は、高校で分からなかったことをもう一度繰り返し学ぶような工夫の足りないことは致しません。新入生の皆さんは、「何かを作ってみよう」と工学に夢を抱いて本学に入学したはず。その夢を、学びの起点にしたいと考えました。何かを作りたい、そのためには力学や電磁気学が理解できなければならぬ。それを理解するには数学や物理の基礎が欠かせない。このように考えれば、なぜ学ぶかが分かりやすくなりますし、興味もわきます。

目標設定、目標明示型の学びです。

しかし、学びには別の側面もあります。分からないから学ぶのだ。目標は遙か遠くにあり、それが見えないから、深遠な目標に向かって学ぶのだ、という考え方は、教養科目がその典

型でしょうが、専門科目にも遙か彼方を目指す志は欠かせません。

本学は、「実工学教育」の名の下、現場のプロフェッショナルを育てる教育に取り組んできました。君が卒業後、アジアの生産現場に派遣されたとき、そこですでに必要とされるのは技術力です。課題を正確に理解し、総合的に判断し、知と技で解決に導く力です。しかし、現地の技術者の協力なしには、問題は解決しません。そのためには技術力に加え、現地の事情や歴史・文化に敬意を払い、肩を並べて歩く力が欠かせません。その力を育てて下さい。

大学院工学研究科入学の皆さん、これまでの学びを大切に前へ進んで下さい。皆さんの活躍は、本学の希望です。

留学生別科入学の皆さん、皆さんの活躍は、あなた一人のものではありません。あなたの国や地域と日本の架け橋として期待されているのが、あなた方一人ひとりであります。

本学での学びを経て、一回りも二回りも大きく育ち、自信を持って世界で活躍できる人に育つことを期待しています。輝ける未来を目指し、一緒に歩みましょう。

キャンパス整備 E21棟エントランスリニューアル

ものづくり環境学科の完成年度に当たり、E21棟エントランスが装いを一新、3月20日火に完成した。

外観は、隣接の本館壁面との調和を考えた作りであり、屋根もビザリアトリビと同様のテント地を使ったユニークな形が特色である。また、自動ドア化された玄関の天井には、当学科の学生が製作した照明器具が設置されているが、これは廃品のPC液晶モニターをリサイクルした器具である。あわせて、1階トイレのウォシュレット化も行った。



E21棟エントランス

キャンパス防災設備の機能向上

東日本大震災後、キャンパス全域に「緊急時一斉放送設備」と「消火栓用非常用発電設備」を設置した。今後、計画的にキャンパスの危機管理体制整備を行っていく予定である。

学生フォーミュラチーム オーストラリアでの成果を報告

1月21日(土)、学生フォーミュラチームがFSAE-Aオーストラリア大会参戦報告会をLCセンターにおいて開催した。

本学は11人のチームを組み、12月15日(木)から3日間、メルボルンのビクトリア大学で行われたレースへ挑んだ。初参戦ながら完走を果たし、各国から集まったフォーミュラカー23台中、総合10位という素晴らしい結果を残せたことは、チームにとってかけがえのない経験となったこ

とだろう。彼らは9月の全日本学生フォーミュラ大会へ向け、更なる闘志を燃やしている。



結果を報告する小野寺星子リーダー(当時)

教務部長からのメッセージ

教務部長 成田 健一

ながら大学、とりわけ専門科目の講義では、全て先生が教えてくれるわけではありません。この話の先にはこんな面白い世界が広がっている、そんな「学びのきっかけ」は話してもらえますが、その未知の世界への扉を開けるかどうかは、皆さんの行動にかかっています。面白いなあ、と思ったら、是非その先を自分で紐解いてみてください。そこ

無論、人生において自らが直接体験できることには限りがあります。でも人間は文字を通して他人の感動を共有することができます。みなさんが生まれる前、いや遙か昔の人たちの感動さえも分かち合うことができるのです。そう気付けば、今こそが多くの本を読み、自ら積極的に学ぶべき時であると納得できるはずですよ。

機械工学科主任・教授
村田 泰彦

す。機械工学科は新入生皆さんを中心に歓迎致します。念願かなって入学をえた人、両親や高校の先生から背中を押されて入学を迎えた人、様々な心境の者がここに集っているかといえます。本学科では、教や研究に対して熱い情熱を持った教員陣が、特色あ授業力リキウムと、国大学の中で質、量ともにップクラスの教育研究設をもつて君たちを指導します。大きな夢と目標を持つ勉強に励んで下さい。

創造システム工学科主任・教授
古澤 信幸

とうでございます。そして創造システム工学科へようこそ！
今は入学の喜びと、これから大学生活の夢と希望で胸が一杯にふくらんでいることと思います。天にも昇る心地でしょうか。

今、皆様は人生の新たなスタートラインに立ち、一歩を踏み出すぞとされています。ところで、どの方向に一歩を踏み出すのか、もう決めていますか？大学はこれまでの小中学校と大きく違う点があります。社会人に一歩近づいたので、自由度が高いのです。

りません。この自由に戸惑うことでしょう。しかし、目的意識を持てば、毎日毎日を見失うことはないでしょう。

辞書によると「青雲」とは晴れて青々とした天（そら）の意味だそうです。青雲の志とは、頂点を目指す志です。創造システムの学生としてロボットやマイクロ・ナノなほど豊富で魅力的なメニューの中から一つでも極めようという気概をもって、充実した学生生活を送って下さい。学べば学ぶほど、新たな目的が見つかることでしょう。

情報工学科主任・教授 片山 茂友

めでとうございます。

現代日本のキーワードを挙げますと、超高齢社会、エコ社会、高度ネットワーク社会などですが、それぞれ様々な課題を抱えており、それらの解決に情報技術が益々重要になってきています。

情報工学科では、様々な情報システムの設計や構築に携わる実践的な人材の育成を目指しています。それに対応して演習や実験を伴う授業が非常に多く、また、地域の様々な問題を積極的

に授業に取り入れています。

す。それから「二つ目の答えを探そうにして欲しい」と思います。高校までの教育の影響で二つ答えが出ると考えなくなる傾向があります。他に解は無いかと考えるようにすると、頭が活性化し、学ぶことが面白くなつてきます。

最後に、大学時代の過ごし方がその後の人生に大きく影響すると言われている。皆さんには是非とも有意義な学生生活を送って欲しいと思います。

生活環境デザイン学科主任・教授
川村 清志

めでとうございます。

待ちに待った大学生活が始まります。入学にあたりどんな誓いを立てましたか。早速始まるフレッシュマンゼミでは学科の専門をやさしく講義するとともに、授業科目の選択や登録、自分の将来のことへの相談など、勉強を始めとする様々な疑問や質問に答えます。

皆さんはインテリア、福祉空間、バリアフリーなどのキーワードのもとに勉強の場を求めて来た諸君だと思います。普段の勉強と

て、想像力を日頃から鍛える努力を続けてください。これから勉強を続けていく上で苦しいことや悩みごととともたくさん出てくるでしょう。時々、学ぶ目標を見失ってしまう学生もいます。そんな時は日本の各地から集まる新しい仲間相談したり、経験豊かな学科の教員に話しかけてみてください。必ずや新たな道すがら見えてきます。

私達も応援します。今日の初心を忘れずに、一緒にゴールを目指しましょう。

ものづくり環境学科主任・教授 小野 雄策

1年になりますが、皆さんのお宅は大丈夫でしたか？震災当時は当大学でも節電のため電気供給がストップし、実験装置やパソコンも動かない状況でした。電気が止まると何にもできないなんて・・・停電になって初めて気がつく「都市機能の弱さ」や「ものづくりの弱さ」でした。これらのことを克服するために「ものづくり環境学科」の先生方と一緒に「新しい時代のものづくり」を目指して一緒に勉強していきます！

また、製品が廃棄されたとき、環境を汚染しないように製品素材の安全性やさらには省エネや省資源のためのシミュレーションや製品のライフサイクルアセスメントについても勉強していきます。

エネルギーや資源について勉強し、皆さんと一緒に「新しいものづくりの時代」を築いていきましょう！

電気電子工学科主任・教授 石川 豊

3月の東日本大震災に始まり自然災害の多い年でした。しかしながら、冬を越し、春が来て、桜の花が咲き、入学式の日を迎えています。これは毎年のことではありませんが、今年の桜は、特別な思いで見ている人が多いと思います。

新入生の皆さんも、それぞれの強い決意を胸に入學式を迎えていることでしょう。どうか、今日のこの日の思いを忘れずに、長い時間を、悔いの無いように

きるように、基礎はもちろん、エレクトロニクス、エネルギー、情報通信等の最新技術まで身につけることができるようにカリキュラムを構成しています。また、若くフレッシュな教員も多く、君たちと同じ目線で親切な教育を心がけています。

電気電子工学科の教員

同、入学を歓迎し、また全力で君たちの学びをサポートいたします。安心して、大学生活を満喫して下さい。

建築学科主任・教授 小川 次郎

す。私が大学の建築学科に入學した頃、「建築を勉強すること」は、どちらかといえば特別なことでした。「これから〈建築〉」という専門性の高い分野に邁進するのだ」という、どこか気負った気持ちがあったように思えます。それはそれでひとつの心構えとしては清々しいかもしれませんが、いま私たちにとって、建築はどのような存在でしょうか？

私はよく学生に、「普通に生活して、その中からわき上がってくる気持ち、楽しんで何かをし、また家へと帰ってきます。そのすべての舞台の受け皿になっているのは「建築」です。自分がないままこんな気持ちになるのか、そのこととこの部屋のかたちや壁の色、光の入り方は関係あるのか？

普通生活すること大事にしながら、それを建築に結びつける習慣を身につければ、みなさんの大学生生活は実りの多いものになる」と思います。日工大で建築を勉強する日々を、心から楽しんでください。

共通教育系主任・教授 城戸 卓男

す。これからの学生生活に不安と希望で胸一杯のことと思います。日本工業大学に入學した動機はそれぞれ違うかも知れませんが、最後に決定したのは自分です。決断した時の気持ちを忘れずに四年間充実した学生生活を送ってください。

ところで「縁」とは不思議なもので君たちがひよつとすると高校卒業して就職していたり、あるいは他の大学に行っていたら会うことになった先生や一生付き合う親友となる者に「今」で作ってください。自分に合う人にめぐり会うのは大変かと思いますが積極的にサークル等に参加し、コミニケーションをとることで友達もでき、また集団の生活の中で、将来社会生活を送る上での必要な知恵や複雑な人間関係も自然と学ぶ事が出来ます。本学の委員会やクラブが、君たちの加入を待っています。どうやる上でもサークル活動に積極的に参加し、友達を作ってください。

自分を磨き積極的に能力を高めよう

学生支援部長 竹内 貞雄



新入生の皆さん、入学おめでとうございます。四年間の大学生活は、社会人として活躍するための準備の時です。大学では、高等学校までに学んだ「学力」を学ぶきっかけになるはずで

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。四年間の大学生活は、社会人として活躍するための準備の時です。大学では、高等学校までに学んだ「学力」を学ぶきっかけになるはずで

これらは能力は、受動的ではなく積極的に取り組むことで大きく向上します。高校までの授業は、知識を修得しても、それを実践に移すまでには至っていません。つまり学ぶ側が「受け身」の姿勢であるように思われます。これに対して、大学での授業は「主体的」に学ぶことが特徴です。

大学における専門科目の授業は、単に知識の詰め込みだけでなく、頭の中に記憶された情報の相互の関連を確認する作業でもあります。そこでは、中学で習った知識、高校で習った理科の知識と、最先端の科学技術との繋がりが示され「あつ・そうなのか」と閃くことが重要なのです。皆さんは、それぞれ自分の特性を考えて学科を決め

新入生の皆さんは、大学生活を始めるにあたって、期待と同時に不安も抱いていることでしょう。

そこで、皆さんがスタートから快適な大学生活を送れるよう、心構えや行動の仕方についてまとめました。

日本工業大学での学び方 自ら考え、行動し、充実した大学生活を送ろう！

まずは、オリエンテーションをよく聞こう

入学当初は、いろいろなオリエンテーションが行われます。オリエンテーションとは、皆さんが新しい大学生活という環境に適応できるように方向づけを行うということです。その内容はさまざまですが、全て皆さんに必要な情報だと考えてください。

例えば3月31日(土)は教務部や学修支援センターなど、4月2日(月)には学生自治会のオリエンテーション、4月4日(水)には各専門学科や学生支援部のオリエンテーションが行われます。(下表参照)

何か疑問に思うことがあっても、オリエンテーションの場など、大勢の前では質問しにくいことがあるかもしれません。そのような場合には、オリエンテーション後に担当の先生に直接相談したり、また、学科によっては個別相談の場を設けていますので、そちらを利用してください。

「学修支援センター」を活用しよう

学科のオリエンテーションとは別に、学修支援センターでも相談を受け付けています。相談コーナーは、月曜から金曜の午前11時から午

もう1つは各学科の専門分野について理解することです。

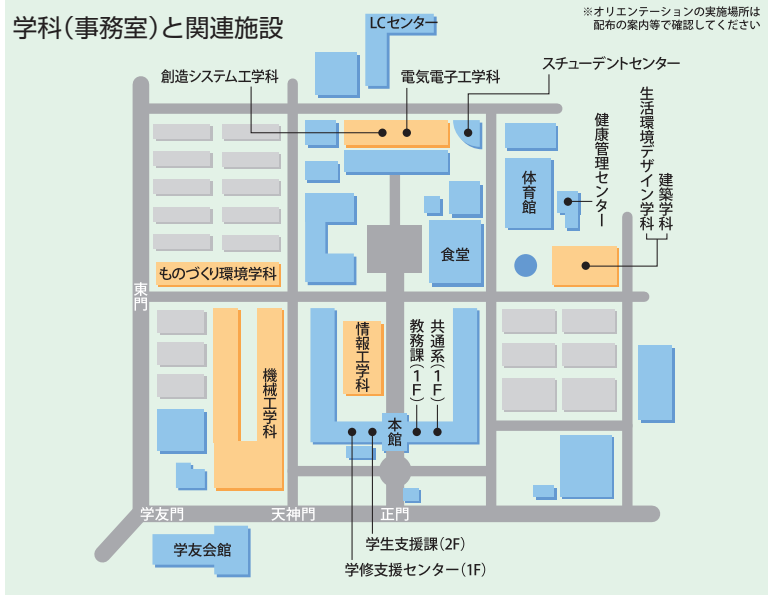
履修申告の方法について

大学では自分で勉強したい科目を選び、履修申告をして受講します。科目名だけでなくどんな内容か分からないので、授業開始日から10日間程は試行期間として、履修申告せずに受講できます。とにかく分からないことは、フレッシュマンゼミの担任の先生に相談してみることです。皆さんひとりひとりの興味や進路希望などに合わせて、親切に相談のてくれます。

大学生活は人間関係づくりの場
さて、大学生活という新しい環境を楽しく過ごすために、人間関係づくりがとても大切です。新しい友達をつくり、先輩とも親しくなるために、クラブ活動や学生自治会等に積極的に参加してみよう。また、興味のある研究室を訪問してみるのも良い方法だと思います。

研究室へも自ら進んで訪問

研究室に正式に所属するのは3年次、学科によっては4年次になってからですが、興味があれば、どんな訪問して先輩から話を聞いてみましょう。1年次から研究に取り組み、立派な成果をあげた先輩もたくさんいます。また、オープンキャンパスに参加した時に興味をもった研究室があれば、訪問してみてもいいかもしれません。



新入生の入学当初の主なスケジュール(2012年度4月初旬)

主な実施内容			
3月31日	土	オリエンテーション(教務部、学修支援センターなど)、学生証交付、健康診断	
4月2日	月	オリエンテーション(学生自治会)、新入生に対する調査	
4月3日	火	入学式	
4月4日	水	オリエンテーション(各専門学科、学生支援部)	
4月5日	木	授業開始	

窓口紹介

さあ、キャンパスライフのスタートです。新入生の皆さんにとって、これから大学生活を送っていくうえで、分からないことや疑問に思うこともあるでしょう。また、新学期の開始時には、いろいろな手続きをする必要があります。そんなときには、ここで紹介している窓口を活用してください。それぞれの分野の専門スタッフが、様々な角度から、皆さんの大学生活をサポートします。

学修支援センター
田中 佳子

将来の夢に向けての第一歩、おめでとうございます。学修支援センターは、大学生活の充実を応援します。先輩に授業のことを教えてもらったり、チューターの先生と自分ペースで勉強したり。他学科の学生と友達になって趣味を充実させるのもいいですね。本館一階でご来室をお待ちしています！

学生支援課
吉見 健二

学生支援課は、学割証の発行の他に、クラブ活動、奨学金等をはじめ大学生活に関するあらゆることを扱っています。困ったことや分からないことがあれば、何でも気軽に学生支援課へ相談してください。新入生の皆さんが充実した大学生活を送ることを心から願っております。

教務課
栗本 収

教務課では、学生諸君が授業を受けるための履修登録や成績に関するサポートを行っています。これらの手続きは大変重要ですので、特に注意を払うよう普段から心がけてください。また、各種証明書の発行等も行っています。積極的に教務課を活用してください。

就職支援課
初見 範子

今後の大学生活は、社会人としての力を身につけ人生に大きく影響を及ぼします。自分自身で切り開いていくためにも様々なことに関心を持ち挑戦してください。本学では、「キャリア教育」と「就職支援」の両面から、みなさんの就職・進路について教員と連携を取り全面的にバックアップをいたします。

LCセンター
棕田 實

新入生のみなさん、スマートフォンやiPad、ノートPCを活用していますか。これから電子書籍&デジタル教材の時代です。どんな媒体であれ「本」は伝達の手段です。LCセンターで実物に触れて読むのも、スマートフォンで読むのも、インターネットで読むのも良いでしょう。ご来館、お待ちしております。

スチューデントラボ
上野 貴博

スチューデントラボは、全学科の学生諸君が利用できる「ものづくり」のスペースです。夜8時まで利用でき、機械・電気・木工など様々な加工や製作のための道具を揃えています。個人、団体問わず専門スタッフによる指導も受けられますので積極的に活用してください。

NITクリエイト
新井 孝志

NITクリエイトは、できるだけ廉価で且つ質の高いサービスを学生の皆様に提供していくことを目的に設立された会社です。学生食堂、コンビニ、カフェテリアを運営する他、アパート斡旋、文具・書籍販売、保険代理店、学内清掃・警備等の業務も行っていきます。是非ともご活用ください。

用度・管財課
磯 雄二

用度・管財課では、研究や実験・実習で使用する機器等の購入や資産管理(建物・構築物・備品等)を行っています。公平・透明性を意識した対応を心掛けています。学生諸君と直接係わり合うことは少ないですが、教育活動が円滑に進むようサポートする縁の下力持ちとなる業務を行っています。

経理課
倉島 清隆

経理課は、大学部門の予算編成や決算業務、学生生徒等納付金等の収納管理等の業務を行っています。学費等に関するご相談、ご質問がありましたら、お気軽に経理課窓口にお越しください。経理課職員一同、誠実に対応させていただきます。

健康管理センター
城戸 卓男

健康管理センターは、常時健康相談や急病またはケガをした時の応急処置、及び運動指導を行っています。毎週水曜日は、校医による健康相談も実施しています。どうぞ、体調がすぐれない等は気軽においでください。また、定期健康診断を受診した学生には、健康診断証明書を発行いたします。

学生相談室
川合 耕一郎

大学生活の悩みは、自立や成長への大事なきっかけとなります。皆さんが悩みに取り組み一人一人の答えを見つけ出すまでを、心の専門家が一緒に考えてお手伝いします。プライバシーを厳守します。どんなささいなことにでも相談に応じますので、お気軽に学生相談室の扉を叩いてください。

英語教育センター
廣田 純子

世界で活躍できるプロジェクト・リーダーを目指す皆さん、英語と異文化を学んで、広い視野で物事を見通す力と、英語のコミュニケーション能力を身につけてみませんか。英語教育センターの扉を開けてみてください。この4年間をどう過ごすかはあなた次第です。国内留学をしてみませんか。

総務課
林 祐司

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。これからはじまる大学生活は、皆さんにとってかけがえのない4年間となるはずで。社会に羽ばたくにあたって大変重要な助走の期間です。この4年間を全力で駆け抜けてください。総務課では、ひろく皆さんのサポートをお約束します。

新しい環境での生活にむけて

中央執行委員長・創造システム工学科3年

高山 勇太



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

皆さんの中には入学してからのことを想像されてどのよう

に過ごそうか不安に思う人も

いるかと思いますが、

大学は高校以前の学校と違

い、とても自由な場所です。

授業の選択は勿論、一日の過

ごし方、部活動やサークルな

ども自分の意思が大切になり

ます。当然、人によって目標

や頑張ることも違ってきます

卒業だけを目指す人、部活動

やサークル活動に精を出す人

(日本工業大学駒場高等学校出身)

アルバイトで自立を目指す人。十人いれば十人の、異なった大学生活があります。自分に合った学生生活を目指してほしいと思います。

とは言え、今までと違う環境で過ごすことで戸惑ってしま

う人もいえるでしょう。そんな人にこそ、部活動やサークル

に足を運んでもらいたいと思います。よく言われること

ですが、本当の自分のことは自分ではよく分からないこと

もあるのです。始めは行くのが面倒だったり、少し怖かったりするかも知れませんが、先輩たちは新入生達を心待ちにしています。気軽に尋ねてみると良いでしょう。

また、大学で過ごす上では

最後になりましたが、皆さんが充実した大学生活を過ごすよう願っています。

サウジアラビア大使館文化アタッシェ来学

1月27日(金)、サウジア

ラビア大使館文化アタッシェのイサム・フカリリ氏と

アカデミックアドバイザーのアルモーン・アブドラー氏

が来学した。

はじめに昼食を兼ねて同

国政府派遣留学生との懇談

会が開催された。期末試験

の最中であるにもかかわらず

留学生全員13名の参加の

下、近況を聴くと同時に勉学や卒業後の進路に関する

アドバイスが行なわれた。

その後、柳澤副理事長、波多野学長を敬訪問し、留學生

に対する大学の対応につ

いて謝意を述べられた。ま

た、今春大学院修士課程修

了予定の同国留學生が日本

の国会議事堂で表彰される

こと、在学中の多くの留學

生が本学大学院への進学を



ブカーリ氏(右から3人目)とアブドラー氏(同5人目)

宮代町の観光推進事業に参画

新しい取り組みの名称

は「大学生による産業観光

ビジネスチャンス事業」。こ

の目的は町内の商店街の活

性化であり、本学の学生に

産業・観光の発展につな

る事業を起業してもら

うというものだ。

この事業では、東武動物

公園駅西口前の空き店舗の

家賃を宮代町が負担し、本

学の学生に貸し出す。そこ

では、町内の各施設・飲食

店情報の発信や注文に応

じたベンチの製造販売を行う予定。建築学科の4年生

横山裕香さん(白石研究

室)と西川博美さん(小川研

究室)が中心になって事業

を進めることになっている。

2人は今年度の第6回ビ

ジネスプランコンテストの

入賞者でもある。今後の活

躍を期待したい。

キッズエコサミット宮代2012

小中学生の環境活動報告。本学教員も参加

「キッズエコサミット宮代2012」が1月24日(火)、宮代町の進修館において開催された。宮代町立の小学校4校、中学校3校から約600人が参加。本学からは、ものづくり環境学科・佐藤茂夫教授、船橋昭一名誉教授がアドバイザーとして参加した。

第1部は、学校や家庭で行われた優秀な環境活動に対する表彰として町長賞、努力賞の授与と活動内容の発表が行われた。

第2部では、環境大使として様々なイベントに参加している3人組ユニット「やんたぶ」が登壇し、エコに関



各小学校の発表に聞き入る小中学生達。手前は佐藤教授

学内合同企業説明会を開催

大卒者を巡る就職環境は依然として厳しい。本学では2月22日(水)から7日間、大手企業中心に186社を招き、第2回合同企業説明会を開催した。

例年、就職が決定した学生のうち約4割は本説明会参加企業へ就職が決まっている。2月の説明会では様々な企業の採用情報を掴み取ろうと、必死にメモを取る学生の姿が見られた。就職支援課では就職率100%に向けて、4月・5月・6月・9月にも開催する予定である。



担当者の説明を熱心に聞く学生達

第8回EMS推進協議会 開催報告

1月31日(火)、18時30分より学友会館会議室にて第8回EMS推進協議会が開催された。

この協議会は、大学と学生との環境活動におけるコミュニケーションを図るために実施されており、双方からそれぞれのEMS活動についての取り組み状況が報告された後、今後更に活動

を進展させていくための取り組み等について、積極的な意見交換が行われた。



環境への意識も年々高まり、多くの学生が参加

人事異動

【任用】(4月1日付)

◆於保茂教授(電気電子工学科)昭和29年10月28日生まれ。昭和55年3月東京工業大学大学院総合理工学研究科物理情報工学専攻修士。博士(工学)。前(株)日立製作所中央研究所主管研究員。

◆宇賀神守教授(電気電子工学科)昭和35年5月2日生まれ。昭和60年3月東京工業大学大学院工学研究科修士課程物理工学専攻修了。博士(工学)。前日本電信電話(株)先端技術総合研究所主任研究員。

◆三坂育生教授(建築学科)昭和42年3月25日生まれ。平成14年3月九州大学大学院総合理工学研究科環境エネルギー工学専攻修士。博士(工学)。前(株)竹中工務店技術研究所主任研究員。

◆劉雯講師(共通教育系)出張先Ⅱ中国(3/24~3/31)目的Ⅱ工学系女子学生の専攻分野選択の要因分析に関する調査

◆徐華准教授(建築学科)出張先Ⅱ中国(3/27~4/1)目的Ⅱ中国における生態保育環境保全の地域調査

国外出張

◆劉雯講師(共通教育系)出張先Ⅱ中国(3/24~3/31)目的Ⅱ工学系女子学生の専攻分野選択の要因分析に関する調査

◆徐華准教授(建築学科)出張先Ⅱ中国(3/27~4/1)目的Ⅱ中国における生態保育環境保全の地域調査

隠れた観光スポット



宮代町の観光名所といえば、東武動物公園、新川家康の家臣で小田原の陣後、太田荘の内3000石を与えられ、西原地区に陣屋を構えたといわれています。現況は更地ですが、発掘調査が進めば隠れた古城が明らかになるかも知れませんね。

編集後記

▼新入生の皆さん、入学おめでとうございます。これからの、4年間を充実した日々、にしていた

だきたい。▼ところで、皆さんは、

糸川英夫(故人)

なる人物をご存じだろうか。

今年生誕百年を迎える航空・宇宙工学者で小惑星イトカワの名は彼が由来だ。また

ペンシルロケット実験により日本宇宙開発の基礎作り

に貢献した博士でもある。

▼氏は、その著書『創造力』で「人生でもっとも大切な

のは失敗の記録である」と表現している。一方で、組

織工学研究所長なる肩書きも持っていた氏がしばしば

用いた言葉は「フレイリア・スタディ」だ。和訳すれば

「失敗学」となる。▼その意味は、独創的思考のアイディアは失敗の裏返しを考えて

いるところから生まれる」となるだろう。確かに、失

敗をしたことは、厳然たる事実として残る。だからこ

そ、そこから目を離すことは、かえって研究をするう

えでマイナスとなる。▼本

学には、数多くの独創的思

考の機会がある。そして失

敗を乗り越える機会も多数

存在するはずだ。[信]